

奥尻町教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の
点 検 及 び 評 価 報 告 書
(令和4年度)

奥尻町教育委員会

令和4年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

番号	事業名	事業内容	事業費	備考	自己評価	外部評価
1	奥尻町いじめ不登校対策等委員会 奥尻町いじめ根絶子ども会議	奥尻町内における、いじめ不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取組状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図る。毎年1回12月中旬に各小中学校・高校と共同で実施。	0		A	A
2	奥尻町特別支援教育連絡協議会	奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に於いて、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進する。毎年1回11月下旬頃に開催。	0		B	B
3	「北海道教育の日」協賛事業 教育委員会学校視察	「家庭、学校、地域社会及び行政が一体となって、教育に関する理解と関心を高めるための様々な取組を展開することによって、全ての道民が子どもたちの教育について考え、語り合い、行動する契機とする」という北海道教育の日の趣旨に協賛し、毎年1回11月下旬頃に教育委員により実施している。	0		B	B
4	預かり保育	住民のニーズに沿うよう、保育時間外(午前8時15分から8時30分、午後2時から6時)預かり保育を実施している。平成26年10月より青苗幼稚園においても実施している。 令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化、11月1日から朝の預かり保育を実施。	3,721	臨時職員賃金、消耗品費	B	B
5	奨学資金の貸付	奥尻町に在住する子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難な者に対し、奨学資金を貸付け、もって有用な人材を育成することを目的とする。	6,480		C	C
6	奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業	奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を目指す。	74		B	B
7	奥尻町教育団体連合会運営事業	奥尻町へき地複式教育研究連盟、奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会の教育団体に対し助成を行う。町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。	339	奥尻町教育推進協議会補助金188千円 特別支援学級教育研究会補助金105千円 へき地複式教育研究連盟補助金46千円	B	B
8	小学校社会科副読本製作事業	町内の児童が小学校で使用する副読本の内容を改訂し、郷土教育の充実を図る。	33	軽微な内容修正・増刷費	B	B
9	学習支援ツール(スタディサプリ)導入事業	生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質の向上を図る。	288	一人当たり年額6,000円	B	B
10	奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業 中体連卓球全道大会出場事業	体育系の部活動を野球部・女子バレー部・卓球部と3部設置しており、毎年7月に開催される檜山中体連球技大会に参加している。※陸上部はないが、陸上出場選手もいるので参加費等を助成している。	784	陸上8名 野球9名 卓球10名 バレー6名 卓球全道1名	B	B
11	奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業	文化系活動として吹奏楽部があり、練習活動に励んでいるところであるが、加盟団体である北海道吹奏楽連盟主催の函館地区コンクールが開催されるので、日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高めることを目指す。	368	参加者10人	B	B
12	奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業	外国語(英語)教育において、近年特にコミュニケーションの重要性が叫ばれる中、授業にも生きた英会話、コミュニケーションを取り入れているところである。	37	奥尻中学校 生徒2名・教員1名参加	B	B
13	ミルク給食	ミルク給食を活用し食育の推進を図る。	1,473	牛乳代 1,288千円 運搬費 185千円	B	B
14	修学旅行費援助事業(小学校)	島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。	841	奥尻小学校 4名 青苗小学校 9名	B	B
15	修学旅行費援助事業(中学校)	島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。	806	奥尻中学校 7名	B	B

令和4年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

番号	事業名	事業内容	事業費	備考	自己評価	外部評価
16	修学旅行費援助事業(高等学校)	島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。	775	奥尻高等学校 22名	B	B
17	まなびじま奥尻プロジェクト	持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業の課題克服に向け生徒自身が考え行動する。	0	まちおこしワークショップ 奥尻イングリッシュサローン Wi-Fiコーナー 奥尻バブリシティ	A	A
18	奥尻高校島留学生受入推進事業	奥尻高校の生徒数維持・教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。	65,651	生徒募集説明会 オープンキャンパス 受入宿舍助成 島留学生への補助	A	A
19	スクーバ授業推進事業	離島という特性を生かし、特色ある授業としてスクーバ授業を実施する。	4,081		B	B
20	外国語教育指導助手招へい事業	外国語教育指導助手を招へいし、小中高の外国語教育の向上を図る。	4,533		B	B
21	GIGAスクールの推進	各学校児童生徒及び教員向けのタブレット端末の整備、また全学校の普通教室への無線LAN環境を活用したICT教育の推進を図る。	1,600		A	A
22	少年の主張発表大会への支援	日常生活の中で、日頃考えていることを広く発表することにより、社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。	0	少年教育の推進	B	B
23	青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコースHokkaido」への支援	中学生リーダーの育成を図る。	0	少年教育の推進	B	B
24	成人式	社会組織の一員となることから、自覚の意識を持たせることを目的とする。	258	青年教育の推進	B	B
25	社会教育団体への支援	PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う	162	青年教育・女性教育・芸術文化振興の推進	C	C
26	社会体育団体への支援	体育協会・スポーツ少年団・町民体育祭実行委員会への支援を行う	515	スポーツ振興・少年教育の推進	B	B
27	第43回子ども芸術展	児童・生徒に対し書道の発表の場と絵画の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を育む。	127	芸術・文化	B	B
28	奥尻岬巡りツアー	奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらうとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。	2	芸術・文化	C	C
29	児童芸術鑑賞事業	舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。	0	芸術・文化	B	B
30	佐藤義則杯野球大会	郷土の星、元プロ野球選手「佐藤義則」氏の功績をたたえらるとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。	0	スポーツ推進事業	C	C

令和4年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

番号	事業名	事業内容	事業費	備考	自己評価	外部評価
31	檜山管内スポーツフェスタ(町内開催)	管内で競技を持ち回りながら行っている事業。奥尻町ではバドミントン大会を開催。	0	スポーツ推進事業	B	B
32	檜山管内スポーツフェスタ(町外開催)不参加	管内で協議を持ち回りながら行っている事業。	0	スポーツ推進事業	B	B
33	第46回町民スキー大会事業	スキーを通じて、冬期間における町民の親睦と体力・技術の向上を図る。	54	スポーツ推進事業	B	B
34	学校体育館・グラウンド夜間開放事業	身近なところで気軽にスポーツに親しめるよう、学校の体育施設を開放する。	126	スポーツ推進事業	B	B
35	スキー場開放事業	簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。	1,987	スポーツ推進事業	B	B
36	第28回教育長杯グラウンドゴルフ大会事業(中止)	誰にでもできるスポーツとして親睦と体力の向上を図るため実施した。	0	スポーツ推進事業	C	B
37	町民スキー教室	スキー技術の向上、競技人口の拡大を図るとともに、スキーヤー同士の親睦を図る。	60	スポーツ推進事業	B	B
38	おくしりチャレンジスクール	地域の多様な人物、企業等に参画していただき、学校で経験できないような体験事業を年間を通して開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。	207	青少年教育・成人事業	B	B
39	うみいろCafé	図書室の取り組みによる読書活動の推進及び図書室利用者増加。ボランティアによる町民の主体的なまちづくり意識の醸成。	17	青少年教育・成人事業	B	B
40	ブックスタート	親子の健やかな成長の促進、過程を見守る地域の支援体制づくり。家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進。	8	青少年・成人教育事業	B	B
41	本の読み聞かせ	「うみいろ」を軸に展開。月1回、図書室で「本のよみきかせ & ままちはるclub」を実施する。	0	青少年・成人教育事業	B	B
42	青苗遺跡重要資料総括事業(勾玉総括プロジェクト)	青苗遺跡出土品のうち、特に注目度の高い「山本台地(懸崖地点)」出土遺構の「墳墓」からの遺物である、鉄刀、勾玉ほか玉類について遺物の分析を行い、数少ない図面と写真を集成して提示する。勾玉、ガラス玉、鉄刀、墳墓の総括について、外部研究者に原稿執筆を依頼して編集する。	1,523	芸術・文化	B	B
	合計		96,930			

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	いじめ不登校対策	施策内容	児童生徒及び高等学校生徒による、いじめ・不登校等の問題行動等の諸課題に対する具体的な対応方針等についての検討会議を行う。			
事業名	奥尻町いじめ・不登校等対策委員会、奥尻町いじめ根絶子ども会議					
事業実施日	令和4年度（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成19年度
目的	奥尻町内における、いじめ・不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取り組み状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図るため。
事業概要	各小中学校の児童生徒の代表者及び奥尻高等学校の代表者により、いじめ不登校対策の事例発表を行い、それについて全体会議及び班毎に討議を行う。
対象者	奥尻町立学校児童生徒及び奥尻高等学校生徒

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事務局費	12	0	4	4	0
費用弁償	12	0	4	4	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	ランク	A	いじめ・不登校等の問題行動について、児童生徒自身が考え、行動する機会を得ることで、問題行動等に対する課題意識の発揚と、未然防止対策につながるようになることから、極めて有意義であると考えます。なお、インターネットを活用したSNSの問題などへの対応を含め、内容等を充実し対応する必要があります。
ランク			
A			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	実施回数の増や内容を工夫するなど事業の拡充が妥当である。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	義務教育	施策内容	特別に支援を要する児童生徒について協議し、特別支援学級の設置などを判断する。		
事業名	特別支援教育連絡協議会				
事業実施日	令和4年5月12日、令和4年12月9日				

2.事務事業概要

事業主体	特別支援教育連絡協議会
事業開始年度	
目的	奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高校において、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進するため。
事業概要	奥尻町立幼稚園、小学校、中学校、高校の校長及びコーディネーター、そして奥尻町住民課長、保健指導係長、子ども支援係長、函館児童相談所を構成員として、学習障害（LD）多動性障害（ADHD）等を含む障害のある児童生徒に対する支援体制のあり方などを協議・検討する。
対象者	園児・児童・生徒

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事務局費	16	3	0	0	0
費用弁償	16	3	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	近年、特別な支援を要する子どもたちが増えてきている現状にあることから、こうした組織の必要性、重要性も増してきている状況にあり、現状を維持しつつ、継続すべき事業と考える。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	教育委員会活動	施策内容	教育委員会委員による学校訪問		
事業名	「北海道教育の日」協賛行事 教育委員会学校視察				
事業実施日	令和4年度（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	教育委員会委員による学校訪問を行うことで、学校経営や学校での取り組みについて、教育委員会委員へ実情を説明し、意見交換を行うため。
事業概要	基本的に校長が新たに赴任した学校を当該年度において訪問することとし、学校経営等の実情を聞き取りする。また教育委員会委員との意見交換を行う。（奥幼、青幼、奥小、青小、奥中、奥高訪問）
対象者	各学校長・教頭、各幼稚園園長

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育委員会費	0	0	0	0	0
費用弁償	0	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	B
	教育委員会委員による学校訪問は、学校経営がどのように行われているかを知る機会となり、それにより教育の方向性等を検討することができるので、有意義であると考えられる。また、学校側にとっても学校の現状や課題、要望等について教育委員へ直接伝えることができるため、問題解決のための一助となっている。現状を維持しながら、継続していく必要がある。

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	預かり保育	施策内容	幼稚園の保育時間外に、在園児を幼稚園の施設で預かり、保護者の子育てを支援する。			
事業名	預かり保育					
事業実施日	令和4年4月8日～令和5年3月24日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成23年度
目的	幼稚園の保育時間終了後、幼稚園の管理下において希望する在園児を当該施設で預かり保育することにより、保護者の子育てを支援する。
事業概要	幼稚園において通園している園児を対象に、希望があれば、登園時間の15分前からと保育時間終了後、預かり保育を行う。
対象者	奥尻町立幼稚園園児（保護者）※青苗幼稚園は平成26年10月より実施。

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開設日数		172	168	205	200
利用者延べ人数	7,513	3,506	10,888	3,744	2,648
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
幼稚園保育料 (預かりのみ)	751	91	175	169	103
幼稚園管理費	15,678	12,941	13,807	16,539	19,601
臨時職員賃金	4,079	3,928	2,701	3,130	3,674
消耗品費	779	58	54	56	47

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; vertical-align: top;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>保護者の子育て支援のため、幼稚園の保育時間終了後預かり保育を実施しているが、保護者のニーズもあり、利用がされている実態にある。平成26年度からは、青苗幼稚園においても預かり保育を始めている。また令和元年10月1日からの幼児教育・保育の無償化により共働き世帯については無償となり、朝の預かり保育（8：15～）についても令和元年11月1日から開始したことにより、より一層利用しやすい環境となった。保護者が働きやすい環境を確保するためにも、今後も事業の継続が必要である。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	後期中等教育・大学教育・専修学校教育	施策内容	高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける			
事業名	奨学金の貸付					
事業実施日	令和4年4月1日～令和5年3月31日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	昭和63年
目的	奥尻町に在住する者の子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難な者に対し、奨学資金を貸付け、もって有用な人材を育成することを目的とする。
事業概要	高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける
対象者	奥尻町に在住する者の子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規貸付 人	6	3	3	4	2
新規貸付 千円	2,040	1,440	1,440	2,160	960
在学中貸付 人	5	9	9	11	10
在学中貸付 千円	2,450	4,451	4,451	6,060	5,520
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
奨学金	4,490	5,891	7,440	8,220	6,480
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0
奨学資金貸付金	4,490	5,891	7,440	8,220	6,480

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>C</td></tr> </table>	ランク	C	<p>奨学資金貸付条例に基づき事業実施しており、この間有用な人材を育成し、ある一定の成果をあげてきていると言える。ただし、滞納者が相当数存在し、町内の滞納者については、直接訪問や面談をし、この間支払が滞っている方々も理解を示し、償還金を完済した方々もいる。島外者の中には、通知を送っても住所不定で郵便が戻ってきてしまう滞納者もいる。また、現年度分についても、数ヶ月支払が滞っている人については、通知をし、相談に応じるなどの対応をとっているが、滞納額は年々増加の一途を辿っていることから、徴収業務を見直しているところであり、改善のうえ事業を継続する。</p> <p>令和5年度への滞納繰越額：9,203,500円</p>
ランク			
C			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	滞納整理や新たな滞納者を出さない取り組みを進めるなど、改善の上、継続することが妥当である。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	生徒指導・非行防止	施策内容	三大祭り等の際に、児童生徒の安全及び非行等がないか見回り活動を行う。		
事業名	奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業				
事業実施日	令和4年4月1日～令和5年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町校外生活指導連絡協議会
事業開始年度	
目的	奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を目指す。
事業概要	町内小中高生の生活の実態について共通理解を深め、緊急の事態が起こった場合、学校・理事・保護者が適切に努める。
対象者	奥尻町教育委員会、各小中学校生徒指導担当教諭、児童委員、少年指導員、警察、奥尻町交通安全協会

3.実施状況

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
会議開催回数		2	4	2	2	2
少年の主張大会への派遣（引率者）	人数	1	1	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0 (町教委より派遣)	0 (町教委より派遣)
教育講演会（町P連共催）	講師	大友 秀人 氏 (北海商科大学教授)	蓮尾 豊 氏 (あおもり女性ヘルスケア研究所長)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	濱田 康	白石 友柄 (合同会社 manasobi)
決算額	千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事務局費		100	100	21	41	74
負担金補助及び交付金		100	100	21	41	74

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>今後、三大祭りの再開なども見込まれ、児童生徒の健全育成のための活動であることから、必要性があるため現状を維持し、継続していく。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	教育団体の育成	施策内容	教育三団体の育成及び活動の充実を図るため、その運営費を助成する。		
事業名	奥尻町教育団体連合会運営事業				
事業実施日	令和4年4月1日～令和5年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育団体連合会
事業開始年度	
目的	町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。
事業概要	奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会、奥尻町へき地複式教育研究連盟
対象者	奥尻町立学校教職員

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
へき地複式教育研究連盟 補助金	33	34	23	19	46
特別支援学級教育研究会 補助金	180	154	43	158	105
教育推進協議会 補助金	200	124	38	197	188
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事務局費	413	312	104	374	339
負担金補助及び交付金	413	312	104	374	339

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>町内外の教育関係機関との連携や、学校間の交流、公開研究会などを通じて教員の資質向上を図り、もって児童生徒の学力向上などへ資することから、必要な施策と考える。現状を維持し継続する。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	小学校歴史	施策内容	郷土教育を図るため社会科副読本を増刷・修正する。		
事業名	奥尻町社会科副読本製作事業				
事業実施日	令和4年4月1日～令和5年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町社会科副読本製作委員会
事業開始年度	
目的	改訂した社会科副読本の増刷・内容修正をする。
事業概要	奥尻町社会科副読本の内容修正・増刷
対象者	奥尻町小学校児童

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
内訳					
事務局費	1	0	1	4	2
会議費	0	1	0	0	0
印刷製本費	21	23	34	24	27
旅費	3	3	0	4	2
消耗品費	1	1	0	2	2
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事務局費	26	28	35	34	33
負担金補助及び交付金	26	28	35	34	33

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>今後も情報の更新や増刷予算の確保は必要なものの、大きな改訂はないため、現状のまま継続していく。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	奥尻高校の生徒が学習支援ツールを使うための補助		
事業名	学習支援ツール（スタディサプリ）導入事業補助金				
事業実施日	令和4年4月1日～令和5年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成29年度
目的	生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質を向上させる。
事業概要	インターネット接続環境においてスマートフォンやパソコンを利用し動画を視聴することができるサービス。大学別講座や、センター試験対策講座の受講が可能。奥尻高校生徒へのスタディサプリ利用料3分の2を町で補助している。
対象者	奥尻高校生徒

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	44	65	81	82	71
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育振興費	176	260	324	328	288
負担金補助及び交付金	176	260	324	328	288

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>学習支援ツールを導入することにより、生徒たちの自主的な学習機会の増加が見込め、またツールにより客観的に自身の理解度などを把握できるため、学習の方向性を定めやすくなっており、全体的な学力向上につながっているため、継続した実施が必要と考える。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	檜山中体連に参加することで、日頃の練習の成果を試すとともに、部活動への活動意欲を高める。		
事業名	奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業				
事業実施日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立中学校
事業開始年度	
目的	日頃の練習の成果を試すとともに、全道大会出場権獲得も含め、上位入賞を目標として参加する。
事業概要	中体連に参加することで日頃の練習の成果を試すとともに、活動意欲を高め、体育教育の向上を目指す。
対象者	奥尻町立中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加生徒数					
陸上	12	11	0	5	8
野球	10	11	6	9	9
卓球	12	7	10	10	10
バレー	15	10	4	6	6
卓球（全道）		2			1
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育振興費	661	789	245	493	784
負担金補助及び交付金	661	789	245	493	784

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	部活動の中で最も目標としている檜山中体連出場事業に係る経費であることから、現状を維持し継続することとする。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	吹奏楽部函館地区コンクールへ出場するため、必要な助成を行う。		
事業名	奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業				
事業実施日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立中学校
事業開始年度	
目的	日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高め、吹奏楽部を中核として情操教育の向上を目指す。
事業概要	北斗市かなで〜るにおいて、北海道吹奏楽連盟主催による函館地区吹奏楽コンクールが開催される。
対象者	奥尻町立中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加生徒数	7	6	0	5	10
引率教員数	3	3	0	2	2
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育振興費	399	312	0	200	368
負担金補助及び交付金	399	312	0	200	368

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	日頃の練習の成果を発表する上で貴重な場であることから、現状を維持して今後とも続けていきたい。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	英語暗唱大会へ出場するため、必要な助成を行う。		
事業名	奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業				
事業実施日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立奥尻中学校
事業開始年度	
目的	日々の授業で培ったコミュニケーション能力を発表する機会を与えるため。
事業概要	管内の中学校から選抜された生徒が集まり、英語暗唱大会を実施している。
対象者	奥尻町立中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加生徒数	1	2	0	2	2
引率教員数	1	1	0	1	1
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育振興費	9	68	0	39	37
負担金補助及び交付金	9	68	0	39	37

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	英語の暗唱大会という、奥尻では開催していないことから、出場することで様々な経験を培えることから、現状を維持しつつ、事業を継続する。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小学校）、義務教育（中学校）	施策内容	ミルク給食を活用した食育の推進を図る。		
事業名	学校給食費				
事業実施日	令和4年4月1日～令和5年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、ミルク給食を活用した食育の推進を図る。
事業概要	小学校及び中学校においてミルク給食を実施する。
対象者	児童・生徒

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学校給食費	1,400	1,238	1,099	1,537	1,473
需用費	1,244	1,079	940	1,378	1,288
役務費	156	159	159	159	185

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>現在、北海道内市町村で共同調達しており、小売業者から購入するよりも安価な金額で購入が可能である。また、離島という地域性であるため、食材の安定的供給が不確定要素であることから、また給食施設も莫大な経費がかかることから、現行のミルク給食を維持していくことが適切であると考える。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小学校）	施策内容	修学旅行費を援助する。		
事業名	修学旅行費援助事業				
事業実施日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。
事業概要	小学校の修学旅行費を援助する。
対象者	児童

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者					
奥尻小学校	8	5	6	6	4
青苗小学校	6	0	6	6	9
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育振興費	539	242	564	669	841
扶助費					
奥尻小学校	308	242	282	334	259
青苗小学校	231	0	282	334	582

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも事業を継続する必要がある。また、小学校間の交流と経費削減のため奥尻・青苗合同で修学旅行を実施している。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	修学旅行費を援助する。		
事業名	修学旅行費援助事業				
事業実施日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。
事業概要	中学校の修学旅行費を援助する。
対象者	生徒

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者					
奥尻中学校	22	13	9	14	7
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育振興費費	1,760	1,215	680	1,321	806
扶助費					
奥尻中学校	1,760	1,215	680	1,321	806

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも現状のまま維持とする。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	修学旅行費を援助する。		
事業名	見学旅行費援助事業				
事業実施日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成28年度
目的	生徒に広い知識、豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。
事業概要	高校の見学旅行費を援助する。
対象者	生徒

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者					
奥尻高等学校	12	22	0	28	22
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育振興費費	567	915	0	1,163	775

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域性から旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点から継続して実施する。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	高校	施策内容	島ぐるみで高校の魅力化を図る。		
事業名	まなびじま奥尻プロジェクト				
事業実施日	令和4年4月1日～令和5年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町、奥尻高校
事業開始年度	平成28年度
目的	持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業等の課題克服に生徒自身が考え行動する。
事業概要	まちおこしワークショップ・奥尻イングリッシュサローン・Wi-fiコーナー・奥尻パブリシティ
対象者	奥尻高校生徒

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業予算0ベース	事業予算0ベース	事業予算0ベース	事業予算0ベース	事業予算0ベース

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	ランク	A	<p>島の課題解決に生徒自ら挑戦することで、これからの時代に必要とされる課題解決能力を生徒全員が身につけることができる。また、遠隔個別指導を実施することにより、離島というハンディキャップを解消し、地域格差を是正することができている。こうした取組により奥尻高等学校の魅力化が図れ、生徒の確保にもつながっているが、全国各地が魅力化の取組を始めており、組織体制の検討及びプロジェクトの拡充が急務である。</p>
ランク			
A			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業の拡充 <input type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="radio"/> C 改善の上継続 <input type="radio"/> D 事業の縮小 <input type="radio"/> E 休廃止の検討
論評	<p>農業などの地域産業と連携した物産の開催や担い手不足解消のための農業体験を行うなど、奥尻ならではの課題を解決に向けた実践を行うなど事業の拡充が必要である。</p>

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	奥尻高校の存続のため、高校生徒の島外からの受入を実施する。		
事業名	奥尻高校島留学生受入推進事業				
事業実施日	令和4年4月1日～令和5年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町・奥尻高校
事業開始年度	平成28年度
目的	奥尻高校の生徒数維持、教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。
事業概要	全国各地での生徒募集説明会の開催（地域みらい留学）、オープンキャンパスの実施、受入宿舍の確保、受入宿舍および島留学生への補助
対象者	島留学生・保護者・島留学生受入宿舍

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
説明会(独自)参加者 人数	47	17	24	19	14
O C参加者 人数	35	39	33	17	18
島留学生(新規) 人数	16	15	21	20	20
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
島留学生関連事業費	169,046	194,350	55,571	60,252	65,651
旅費	395	540	108	152	298
消耗品費	143	422	616	607	606
燃料費	604	1,664	2,292	3,274	3,441
印刷製本費	146	147	189	147	147
光熱水費	622	2,944	3,744	4,147	4,133
修繕料	46	196	327	500	348
賄材料費	1,596	4,151	6,982	6,913	7,372
通信運搬費	125	205	219	283	292
手数料	352	168	116	157	130
火災保険料	55	202	309	385	308
委託料	15,800	25,093	32,841	34,216	39,714
使用料及び借上料	659	617	614	14	30
工事請負費	134,287	141,218	605	1,870	0
備品購入費	7,972	10,075	192	411	313
負担金補助及び交付	6,244	6,708	6,417	7,176	8,519

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]	
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p>説明会については、東京において地域みらい留学フェスタに参加する形で行い、北海道内では独自の説明会を函館・札幌で行い、奥尻高校の魅力を全国へ伝える良い機会となっている。島留学生の受入は高校の存続、奥尻町が抱える担い手不足・過疎化の解決にとっても重要な取組である。今後は、寄宿舍の受入体制の整備、地域と島留学生の交流促進など、取組の拡充を図っていく必要がある。</p>	ランク	A
ランク		
A		

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業の拡充 <input type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="radio"/> C 改善の上継続 <input type="radio"/> D 事業の縮小 <input type="radio"/> E 休廃止の検討
論評	募集活動の強化や地域と島留学生の交流を増やすイベントの開催するなど事業の拡充が必要である。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	特色ある取組みとしてスクーバ授業を実施する		
事業名	スクーバ授業推進事業				
事業実施日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻高校
事業開始年度	平成7年度
目的	奥尻のきれいな海を知ることによって郷土愛を育み、ダイビングスキルを身に付けるとともに防災意識・環境保全の意識の向上を目的とする。
事業概要	スクーバダイバー講習、アドバンススクールダイバー講習、潜水技術基礎訓練等を実施。またそれらに使用する機材の更新、保守など
対象者	奥尻高校生徒

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
Cカード取得	8	19	0	18	14
アドバンス取得	6	8	0	0	0
潜水士	4	2	6	2	4
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人材育成費	5,091	3,535	0	4,360	4,081
委託料	3,136	3,535	0	4,066	4,081
備品購入費	1,955	0	0	294	0
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>奥尻島の美しい海でスクーバダイビングを体験し、島の美しさを再認識することができ郷土愛が育まれる。また、漁業後継者等の人材育成につながることや、生徒募集のPRとしても有効であることから、今後も継続した事業実施に努める必要がある。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	外国語教育	施策内容	外国語教育指導助手を招へいし、小中高における外国語教育を推進する。			
事業名	外国語教育指導助手招へい事業					
事業実施日	令和4年4月1日～令和5年3月31日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成29年度
目的	JETプログラムにより、外国語教育指導助手を招へいし、町内各学校の外国語（英語）教育において、ネイティブスピーカーによる指導をすることにより、児童生徒の外国語（英語）能力の向上を図る。
事業概要	小中高に外国語教育指導助手を派遣し、外国語（英語）の授業の補助をする。
対象者	奥尻町立学校児童生徒

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	1人	1人	1人	1人	1人
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事務局費	3,209	4,140	4,437	4,628	4,533
報酬	2,475	3,735	4,053	4,229	4,154
費用弁償	52	0	22	44	64
普通旅費	134	56	0	0	0
燃料費	7	11	15	8	0
通信運搬費	0	0	0	0	0
自動車保険料	7	8	8	8	50
車借上料	221	223	223	225	151
負担金	313	107	116	114	114

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	既に小学校の段階から外国語教育が導入されており、そのなかでネイティブスピーカーによる外国語指導の実施によって「話す」「聞く」能力の向上が図られるため、事業を継続する。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	羽立 仁	担当	井田 憲太
領域	全校	施策内容	ICT教育機器を活用し、教育の質向上を図る。		
事業名	GIGAスクール推進事業				
事業実施日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立学校
事業開始年度	令和2年度～
目的	高度情報化、グローバル化に対応した教育を行うため、情報モラル教育、利活用スキルの育成を図る。
事業概要	各小中学校児童生徒及び教員向けのタブレット端末の整備、また全学校の普通教室に無線LAN環境を整備することでICT活用教育の推進を図る。
対象者	奥尻町立学校児童生徒・教職員

3.実施状況

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
タブレット端末 台数				212	
無線LAN環境				全校普通教室全域	
決算額 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事務局費					
委託費				1,344	1,600
工事請負費				0	0
備品購入費				0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	A
	<p>情報化やグローバル化が進み、将来の予測が困難な時代を前に子どもたちは、社会の変化に対して受け身で対処するのではなく、主体的に関わっていく力が必要である。ICT教育を通し、個の学習ニーズに応じた個別最適な学びを実現するため、今後は、整備されたタブレット等の有効活用をし、離島地域ならではのハンディキャップを克服する教育の推進を図っていく。</p>

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業の拡充 <input type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="radio"/> C 改善の上継続 <input type="radio"/> D 事業の縮小 <input type="radio"/> E 休廃止の検討
論評	ICT機器を活用した授業等の拡充を図るとともに、タブレット端末故障時の保険の費用負担のあり方を検討する必要もある。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	青少年教育				
ねらい	自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。				
事務事業名	少年の主張発表大会への支援				
事業実施日	令和4年6月23日（木） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事前に録画したビデオで審査				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 北海道檜山振興局 (後援) 奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	日常生活の中で体験し、日頃考えている事を広く発表することにより、自らが社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。
事業概要	中学校から2名弁論会により選考し、管内で行われる檜山地区大会弁論大会に参加する。
対象者	奥尻中学校生徒（2名）

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加人数 人	2	2	—	2	2
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費	10	21	0	0	0
負担金	10	21	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につける事業として必要であると判断する。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保克博
領域	青少年教育				
ねらい	自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。				
事務事業名	檜山管内ジュニアリーダー養成事業「ひやまミライ学」				
事業実施日	令和4年10月8日(土)				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 北海道教育庁檜山教育局 (協力) 檜山管内社会教育主事会
事業開始年度	平成17年度
目的	将来のリーダーとなる中学生及び高校生を対象に、防災教育を通じた体験的な学習やSDGsの推進につながる地域課題の解決に向けた実践的な学習を通して、檜山管内各町の次世代の地域リーダー育成に寄与する。
事業概要	檜山管内の中高生が、有事の時に対応できるリーダーとしての資質の育成をテーマにオンライン参加。ネイバル森の職員に協力いただき、防災に関わることやリーダー育成に関わることについて講義・演習を行う。
対象者	奥尻中学校生徒(2名)

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加人数 人	2	2	0	1	2
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費	17	16	0	0	0
負担金	17	16	0	0	0

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td rowspan="2"> <p>中高生が、他町の参加者と交流を図りながら、防災に関わることやリーダー育成に関することについて学ぶことが出来たことは有意義であった。</p> <p>今年度はオンライン開催であったが、対面形式で実施出来る場合も含め、青少年リーダーの育成に有効であると判断するので次年度以降も参加できるよう呼びかけていく。</p> </td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </table>	ランク	<p>中高生が、他町の参加者と交流を図りながら、防災に関わることやリーダー育成に関することについて学ぶことが出来たことは有意義であった。</p> <p>今年度はオンライン開催であったが、対面形式で実施出来る場合も含め、青少年リーダーの育成に有効であると判断するので次年度以降も参加できるよう呼びかけていく。</p>	B	
ランク	<p>中高生が、他町の参加者と交流を図りながら、防災に関わることやリーダー育成に関することについて学ぶことが出来たことは有意義であった。</p> <p>今年度はオンライン開催であったが、対面形式で実施出来る場合も含め、青少年リーダーの育成に有効であると判断するので次年度以降も参加できるよう呼びかけていく。</p>			
B				

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	青年教育				
ねらい	活動の中心的なリーダー性や意欲を引き出す取り組みを行なうことによって、地域に根差した人材を育成する。				
事務事業名	令和3年度・4年度 成人式				
事業実施日	令和4年8月12日（金）※前年度中止となった成人式をあわせて実施（2力年分同日開催）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町
事業開始年度	不明
目的	社会組織の一員となることから、自覚と意識を持たせることを目的とする。
事業概要	町内の成人となる人を海洋研修センターに迎え式典を行う。ただし、成人の集いについては、新型コロナウイルス感染症拡大のおそれがあることから開催しない。
対象者	町内及び奥尻町出身の成人となる人

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者 人	16	27	18	0	23
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費	220	222	100	48	258
賞賜金	130	130	15	48	250
食糧費	84	80	80	0	0
通信運搬費	2	6	2	4	8
消耗品費	4	6	3	3	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td rowspan="2"> 昨年は式典前日に町内で新型コロナウイルス感染症陽性者が出たため中止となったが、今年は抗原検査を実施の上で開催した。昨年度対象者と今年度対象者の2部構成で実施。成人の集いは中止としたが、島出身者が同窓の仲間と集い語り合うことで、ふるさとを愛する心を育てると共に、Uターン就職のモチベーションが生まれ、地域の活性化につながる機会となるため、式典と集いの双方は継続していくべきと考える。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	昨年は式典前日に町内で新型コロナウイルス感染症陽性者が出たため中止となったが、今年は抗原検査を実施の上で開催した。昨年度対象者と今年度対象者の2部構成で実施。成人の集いは中止としたが、島出身者が同窓の仲間と集い語り合うことで、ふるさとを愛する心を育てると共に、Uターン就職のモチベーションが生まれ、地域の活性化につながる機会となるため、式典と集いの双方は継続していくべきと考える。	B	
ランク	昨年は式典前日に町内で新型コロナウイルス感染症陽性者が出たため中止となったが、今年は抗原検査を実施の上で開催した。昨年度対象者と今年度対象者の2部構成で実施。成人の集いは中止としたが、島出身者が同窓の仲間と集い語り合うことで、ふるさとを愛する心を育てると共に、Uターン就職のモチベーションが生まれ、地域の活性化につながる機会となるため、式典と集いの双方は継続していくべきと考える。			
B				

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	成人教育				
ねらい	各社会教育団体に補助することにより、地域活動の推進、地域文化の振興を図る。				
事務事業名	社会教育団体への支援				
事業実施日	通年				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。
事業概要	PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体主催事業に対しサポートする。
対象者	奥尻町PTA連合会、奥尻町女性団体連絡協議会、奥尻町文化協会

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
児童生徒数 人	119	99	101	111	103
文化団体数	12団体、個人4人	10団体、個人4人	10団体、個人4人	12団体、個人1人	10団体、個人1人
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費	430	357	105	179	162
補助金（PTA）	150	125	22	20	56
補助金（女連協）	130	121	34	83	15
補助金（文化協会）	150	111	49	76	91

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>C</td></tr> </table>	ランク	C	<p>今年度も、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、思うような活動を行うことができなかった。各団体の更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要はあるが、予算要求の段階で活動方針を精査すべきと考える。</p> <p>※すべての補助団体において、決算により発生した残金を返納してもらうこととした。</p>
ランク			
C			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	団体の組織体制や活動状況を確認する必要がある、改善の上継続することが妥当である。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	スポーツ				
ねらい	各社会体育団体に補助することにより、地域活動の推進、スポーツ振興を図る。				
事務事業名	社会体育団体への支援				
事業実施日	通年				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。
事業概要	奥尻町スポーツ協会・奥尻町スポーツ少年団・奥尻町町民体育祭実行委員会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体の運営に対しサポートする。
対象者	奥尻町スポーツ協会、奥尻町スポーツ少年団、奥尻町町民体育祭実行委員会

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
体協(スポ協)加盟団体数	9	9	9	9	9
スポ少加盟団体数	2	2	2	2	2
マラソン大会参加人数	雨天中止	246	新型コロナウイルス感染症 拡大のため中止	新型コロナウイルス感染症 拡大のため中止	226
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保健体育総務費	504	450	340	324	515
補助金【体協(スポ協)】	270	187	234	219	216
補助金【スポ少】	110	106	106	105	101
補助金【町体祭】	124	157	0	0	180
補助金【奥中白老野球】					18

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>コロナ禍ではあったが、3年ぶりに町民体育祭マラソン大会を実施することが出来た。 スポーツ協会・スポーツ少年団については自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。 ※「体育協会」は、H31.4.1より「スポーツ協会」に名称変更。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保克博
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	第43回子ども芸術展				
事業実施日	令和4年1月29日（土）～2月6日（日）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	児童・生徒に対し書道の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を養うと共に、絵画による表現や鑑賞の機会を提供することにより、創作する喜びや、作品を通して感動する心豊かな感性や情操を養う。
事業概要	海洋研修センターで、各小中学校から提出のあった美術・書道作品を展示する。
対象者	小学校児童及び中学校生徒

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
作品数 点	書道114 絵画130	書道97 絵画169	書道100 絵画170	絵画・版画 185	絵画 106
				書道 106	版画 74
					書道 102
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費	書道25 絵画52	書道42 絵画57	書道47 絵画62	103	127
報償費	書道23 絵画47	書道40 絵画52	書道44 絵画57	97	121
費用弁償	書道 2 絵画 5	書道 2 絵画5	書道3 絵画5	6	6

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	<p>B</p> <p>昨年度から書道展と美術展を同時開催する「子ども芸術展」として実施している。 書道作品と絵画作品を同時に展示したことで、展示作品数が多くなり、見応えのある展示会となった。 次年度以降も子どもたちの作品を多くの町民に見てもらえる事業として継続していく必要があると考える。</p>

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	奥尻岬巡りツアー				
事業実施日	令和4年5月7日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成27年度
目的	奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらうとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。
事業概要	島内の史跡や観光地を巡りながら、島の情報を発信し、相互の親睦を図り、これからの島での活動につなげていってもらう。
対象者	全町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者数 人	14	26	中止	27	23
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費	9	14	0	2	2
食糧費	9	14	0	2	2

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>昼食代は参加者負担のため、食糧費はバス運転手分のみである。</p> <p>新しく島に来る人にとってはとても有意義な事業であり、今後もこの方向性で展開していく。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保克博
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	児童芸術鑑賞事業				
事業実施日	令和4年8月24日(水)				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	日頃舞台芸術を鑑賞する機会が少ない地域の児童生徒に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。
事業概要	児童を対象に、小学校体育館を活用し、児童劇、音楽隊などの芸術団体を招き、鑑賞する。文化庁が実施している巡回公演（経費は全額文化庁が負担）と北海道巡回小劇場（事業費42万円は町負担）どちらかを実施。
対象者	町内小学生

3.実施状況

数値等で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
巡回小劇場					
巡回公演	テレマンオーケストラ	風の子パザール	めばえ寄席○○亭→中止	申込なし	津軽三味線 あべや
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>今年度は文化庁の巡回公演に応募し、津軽三味線の公演を青苗小学校で実施した。</p> <p>来年度以降もまずは巡回公演に応募し、採択されなかった場合、巡回小劇場に応募する流れで進む旨、両小学校と協議済み。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保克博
領域	スポーツ				
ねらい	自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい青少年の育成を図る。				
事務事業名	令和4年度佐藤義則杯野球大会				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成元年
目的	郷土の星、「佐藤義則」氏（元プロ野球 オリックスブルーウェーブ投手）の功績をたたえとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。
事業概要	町内の野球団体の参加をいただき、野球大会を開催することにより、野球振興の活性化を図る。
対象者	町内野球団体

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加チーム数 チーム	4	3	中止	中止	中止
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保健体育総務費	53	60	0	0	0
報償金	40	45	0	0	0
賞賜金			0	0	0
消耗品	13	15	0	0	0
食糧費			0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>C</td></tr> </table>	ランク	C	コロナ禍においては中止していたが、過去は町内野球団体（奥中・奥高野球部を含む）による野球大会として野球愛好会を軸に展開し、町の野球振興につながっていた。今後は野球団体の意向も聞きながら事業の実施を判断したい。
ランク			
C			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	実施団体等と協議し事業の実施方法を検討するなど、改善の上、継続することが妥当である。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	檜山管内スポーツフェスタ（町内開催）				
事業実施日	令和4年7月23日（土）～24日（日）				

2.事務事業概要

事業主体	（主催）檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 （共催）奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成13年度
目的	町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。
事業概要	檜山管内スポーツフェスタとしてバドミントン競技を開催する。
対象者	管内スポーツ団体

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加町数 町	0	3	中止	中止	3
参加人数 人	0	29	中止	中止	24
競技名	バレーボール	ゲートボール	卓球	卓球	バドミントン
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	0	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td rowspan="2"> <p>過去2年、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となっていた自町開催の大会は、「バドミントン競技の部」で3年ぶりに開催された。</p> <p>他町の選手が来町し、競技を通じて交流を深められる絶好の機会である。当町で開催できる種目は限定的であるが、檜山管内のスポーツ協会連絡協議会や町内のスポーツ団体とも連携をとりながら事業を継続していきたい。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	<p>過去2年、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となっていた自町開催の大会は、「バドミントン競技の部」で3年ぶりに開催された。</p> <p>他町の選手が来町し、競技を通じて交流を深められる絶好の機会である。当町で開催できる種目は限定的であるが、檜山管内のスポーツ協会連絡協議会や町内のスポーツ団体とも連携をとりながら事業を継続していきたい。</p>	B	
ランク	<p>過去2年、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となっていた自町開催の大会は、「バドミントン競技の部」で3年ぶりに開催された。</p> <p>他町の選手が来町し、競技を通じて交流を深められる絶好の機会である。当町で開催できる種目は限定的であるが、檜山管内のスポーツ協会連絡協議会や町内のスポーツ団体とも連携をとりながら事業を継続していきたい。</p>			
B				

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保克博
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	檜山管内スポーツフェスタ（町外開催）				
事業実施日	-				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 (共催) 奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成13年度
目的	町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。
事業概要	檜山管内スポーツフェスタとして、町外の大会に参加する。
対象者	管内スポーツ団体

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加競技数	1	1	1	1	0
	ゲートボール	バドミントン	ゲートボール	ゲートボール	-
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保健体育総務費	97	71	115	128	0
負担金	97	71	115	128	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	各競技とも対外試合をする機会は少ないので、参加する意義は高い。新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止になった大会が多く、当町からの参加はなかった。 近年、競技人口や開催時期、フェリーのダイヤの問題で参加が難しくなっているが、奥尻町が参加出来る時期をあらかじめスポーツ団体で検討のうえ、開催町へ働きかけることが必要と思われる。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	第46回町民スキー大会				
事業実施日	令和5年2月5日(日)				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	昭和49年度ころ
目的	スキーを通じて、冬期間における町民相互の親睦と体力・技術の向上を図る。
事業概要	町内の小中学生を中心にしたスキー、スノーボードの大会を開催する事業。
対象者	町内小中高生・一般

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者 人	58	41	中止	中止	36
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保健体育総務費	187	148	0	0	54
報償費	98	101	0	0	54
消耗品	35	12	0	0	0
燃料費					
食糧費	54	35	0	0	0

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	冬期間のスポーツ振興としてのスキーは確立しており、引き続き愛好会との連携で行なっていく必要がある。
ランク			
B			
<p>A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討</p>			

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	学校等体育館・グラウンド夜間開放事業				
事業実施日	通年				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	町民の身近なところで、気軽にスポーツを楽しめるよう、学校の体育施設を開放する。
事業概要	各愛好会のスポーツ振興のため、各学校施設の体育館、グラウンド、町民センター体育館を町民に開放する。
対象者	町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
体育館利用団体 チーム	18	17	17	16	8
グラウンド利用団体 チーム	2	2	2	2	1
収入 円	131	164	180	172	56
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
体育施設費	200	193	108	103	126
報酬	20	0	0	0	0
賃金	180	193	108	103	126

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	利用団体数の減少がみられるものの、屋内外施設でスポーツが出来ることは健康増進に繋がることから、学校の協力を得ながら可能な限り開放を継続したい。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	スキー場開放事業				
事業実施日	令和5年1月12日～令和5年3月7日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。
事業概要	桜ヶ丘スキー場の冬期間解放。
対象者	一般町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
リフト券購入者 人	70	20	60	95	75
延べ利用者 人	1393	67	1950	1891	1569
オープン期間 日	54	3	55	52	55
収入 円	164	41	166	183	146
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
体育施設費	2,078	1,068	2,329	2,583	1,987
賃金	1,084	372	1,403	1,313	1,159
消耗品費	44	42	27	35	30
燃料費	99	37	100	126	123
光熱水費	247	180	252	264	260
修繕費	188	7	0	33	0
手数料	0	3	0	1	0
火災保険料	15	15	14	14	14
通信運搬費	6	0	0	0	0
委託料	341	358	352	743	347
使用料	54	54	54	54	54
備品購入費			127	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	冬季のスポーツ振興の一角を担っている事業。 スキー場が整備されている強みを生かし今後も上手に活用していくべきである。 スキーヤーが楽しく安全に滑走するため管理人とスキー愛好会との連携が必須になる。
B	

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	第28回教育長杯グラウンドゴルフ大会				
事業実施日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成6年度
目的	誰にでもできるスポーツのグラウンドゴルフの普及と技術の向上をめざし、相互の親睦と体力の増進を図る。
事業概要	グラウンドゴルフの大会を開催する。
対象者	小学生～一般町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者 人	53	43	中止	中止	中止
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保健体育総務費	28	40	0	0	0
報償費	28	40	0	0	0
食糧費	0	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>パークゴルフとの競合もあり、競技人口が減少しているが、大会を開催したうえで今後のあり方を検討すべきと考える。</p>

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	初心者でも楽しめる競技であり、一定数の参加者が見込まれるため、現状のまま継続することが妥当である。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	町民スキー教室				
事業実施日	令和5年1月22日（日）				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 奥尻町スキー愛好会
事業開始年度	不明
目的	スキー技術の向上、スキー人口の拡大を図るとともに、スキーヤー同士の親睦を深める。
事業概要	桜ヶ丘スキー場にて、奥尻町スキー愛好会の協力を得て、スキー教室を開催する。
対象者	全町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者 人	36	中止	44	62	48
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保健体育総務費	57	0	50	59	60
報償費	50	0	50	50	50
食糧費	5	0	0	9	10
消耗品	2	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>スキー人口の裾野を広げるという目的達成のためには、児童が早期にスキーに慣れ親しむことが大切である。スキー愛好会のほか、各学校教員の協力も得られ、スキー教室開催の土壌は整っており今後も継続して実施すべきと考える。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

1. 基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	地域の多様な人材、企業等に参画していただき、学校では経験できないような体験事業を年間を通じて開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。				
事務事業名	おくしりチャレンジスクール				
事業実施日	5/11(日)、6/12(日)、7/30(土)~7/31(日)、1/22(日)、2/25(土)、3/18(土)				

2. 事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 学校支援ボランティア登録企業・機関・団体
事業開始年度	平成29年度～
目的	・地域全体で子育てを支援する気運の醸成 ・青少年の生きる力を育む ・地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等の構築
事業概要	・年に7回、地域の資源や人材を活用し、様々な体験事業を開催する。※予定していた2事業(おくしり自然塾～デイキャンプ編～、手作り教室)は中止、新規事業でボール運動教室を追加。
対象者	幼稚園児・小学生・中学生・高校生・保護者

3. 実施状況(継続事業を除く)

数値で表せる指標	ファミリーフィッシング	おくしり自然塾～探検編～	いまかね自然塾～交流編～	スキー教室	ボール遊び教室	まがたまのヒミツ教えます	
参加者 人	48	35	7	48	18	12	
予算支出 千円	ファミリーフィッシング	おくしり自然塾～探検編～	いまかね自然塾～交流編～	スキー教室	ボール遊び教室	まがたまのヒミツ教えます	
社会教育総務費	0	8	134	60	5	0	
報償費	0	0	0	50	5	0	
食糧費	0	0	46	10	0	0	
消耗品	0	8	1	0	0	0	
旅費			87				

4. 事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	それぞれの事業の反省を生き、継続していくべき事業を続けていく一方で、子どもたちや地域のニーズを探りながら新たな資源を活用した事業の立ち上げも検討していく。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5. 外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	図書室の取組による読書活動の推進及び図書室利用者増加。 ボランティアによる町民の主体的な町づくり意識の育成。				
事務事業名	うみいろCafe				
事業実施日	令和4年11月19日(土)				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」・図書ボランティア
事業開始年度	平成28年度～
目的	図書室をカフェとして開放することをとおして、気軽に図書室を利用してもらい、奥尻町海洋研修センター図書室を知ってもらうと共に、日常的な利用者増加を図る。
事業概要	一日だけ図書室をカフェとして開放するとともに、読みきかせや自由工作などのイベントを行う。
対象者	一般町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者 人	133	50+120	0	100	69
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費	15	23	0	19	17
報償費					
食糧費	13	21	0	19	17
消耗品	2	2	0	0	0

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	年に一度の海洋研修センター図書室で行うカフェ事業。新型コロナウイルス感染症のため、前年度より参加者は減少したが、「おはなしの会うみいろ」の協力の下、町民同士が交流しつつ本に親しめる貴重な機会であり、今後も図書室利用拡大に向け継続すべき事業である。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	親子の健やかな成長の促進、家庭を見守る地域の支援体制作り 家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進				
事務事業名	ブックスタート				
事業実施日	5月20日（金）、1月20日（金）（町乳幼児検診と合わせて実施）				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」・図書ボランティア
事業開始年度	平成28年度～
目的	子どもたちの心の健やかな成長を願い、乳幼児期より絵本を媒体として親子のコミュニケーションを豊かにし、子どもと保護者の心の健康作りと地域における子育てを支援する。
事業概要	初めての乳幼児検診時にすべての赤ちゃんと保護者に読みきかせをしながら絵本を手渡す。
対象者	初めての乳幼児検診対象者とその保護者

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者 人	15名	13名	12名	6名	3名
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費	17	17	15	16	8
報償費					
食糧費					
消耗品	17	17	15	16	8

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	乳幼児検診をきっかけに本をプレゼントすることで、家庭と行政のパイプも太くなる。本とふれあう機会を増やすためにも本事業は継続していくべきだと考える。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続することが妥当である。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保 克博
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	親の育ちを応援する学びの機会の充実 家庭・地域における読書活動の推進と環境づくり				
事務事業名	本の読み聞かせ事業				
事業実施日	令和4年4月～令和5年3月				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」・読みきかせボランティア
事業開始年度	令和2年度～
目的	読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」の皆さんにご協力をいただき、本の読みきかせを通して幼稚園児や小学生の本に触れる機会を増やし、読書に対する興味や関心を引き出し、また子どもが興味を持つことで保護者の読書活動も推進する。
事業概要	「うみいろ」を軸に展開。月1回、図書室で「本のよみきかせ&ままちるclub」を実施する。
対象者	町内幼稚園園児及び小学校児童、保護者

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数 回			5	6	9
参加者数 人			45	60	74
予算支出 千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費					
報償費					
食糧費					
消耗品					

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	おはなしの会「うみいろ」さんのご協力の下、読書活動の推進を行うことができた。ボランティアの皆さんの力をお借りしながら進めていき、海洋研修センター図書室の利用者を増やし、町民の読書活動を推進するため今後も継続して事業に取り組む。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	羽立 仁	担当	久保克博
領域	芸術・文化				
ねらい	青苗遺跡出土の勾玉等重要資料について、総括報告書を刊行することで、学術的評価を与え、今後の文化財指定への足掛かりとする。				
事務事業名	青苗遺跡重要資料総括事業（勾玉総括プロジェクト）				
事業実施日	令和4年4月～令和5年3月				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	令和4年度～
目的	青苗遺跡の墳墓出土の丁字頭勾玉と共伴遺物（玉類、鉄刀）について、その性格、帰属を明らかにし、被葬者を検討する。公式に総括報告書を刊行することで、学術的評価を与え、今後の文化財指定（町指定から道指定へ、その先も…）への足掛かりとする。
事業概要	青苗遺跡出土品のうち、特に注目度の高い「山本台地（懸崖地点）」出土遺構の「墳墓」からの遺物である、鉄刀、勾玉ほか玉類について遺物の分析を行い、数少ない図面と写真を集成して提示する。勾玉、ガラス玉、鉄刀、墳墓の総括について、外部研究者に原稿執筆を依頼して編集する。
対象者	町民、その他一般

3.実施状況

数値で表せる指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
報告書発行部					400
予算支出千円	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会教育総務費					1,523
報償費					299
旅費					396
消耗品費					754
通信運搬費					74

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	未報告となっていた、昭和51～53年度調査の概要の整理を行い、「墳墓」出土の丁字頭勾玉の他、玉類及び鉄刀について考古科学的な観点で4名の専門家に論じてもらった。未解明の部分も残ったが、被葬者や時期の推定に向けて、一定の道筋がついたと評価する。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価を妥当と認め、現状のまま継続とする。